

市立病院の病棟建替については、昨年7月に基本設計が完了し、今年2月14日に実施設計が完了いたしました。

そして、いよいよ来年3月の完成をめざし、今月より工事が始まることになりましたので、これまでの経緯と建物の概要についてお知らせいたします。

現在の病棟は、築約50年が経過し、老朽化が著しく、市民の皆さんにもご不便をおかけしてまいりました。また昨年行った耐震診断の結果でも、建物の強度は十分な状況とはいえないと判断されております。

その後、住民懇談会でのご意見や市議会の判断をいただき、基本設計から実施設計に至るまで建設の準備作業を進めてまいりました。

しかし、この間に、社会情勢、特に建設業を取り巻く環境は大きく変わり、資材価格や人件費の高騰は想像以上のものとなり、病棟建替の建設費にも大きな影響を与えることとなりました。

また、現在の外来診療棟の空きスペースを有効活用することや外来患者さんへの環境改善をめざした冷房設備の新設など、一部予定していなかった改修工事も計画しながら、古くなった大型ボイラーの取り換え工事など、運営上の改善を図る新たな工事費用も発生し、全体的な建設費が膨らむ結果となりました。

# 病棟建替

いよいよ  
着工



## ■ 建物概要 ■

病棟 RC(鉄筋コンクリート)造 4階建  
延べ床面積 5291.58㎡  
渡り廊下93.84㎡

- 1階 救急外来、リハビリテーション室、厨房、外来食堂、理容室、売店ほか
- 2階 一般病棟60床、個室16室、2床室6室、4床室8室
- 3階 療養病棟60床、個室6室、2床室15室、4床室6室
- 4階 機械室

## ■ 平成26年度 建設費用 ■

22億5,642万円

病院建替工事／既存診療棟・管理棟改修工事  
精神科病棟跡地整備工事／地中熱設備工事  
エネルギー棟既存機器改修工事



しかし、自然エネルギーである地中熱を利用した冷暖房システムや高い気密性や断熱性を取り入れたり、便器などを節水型の設備にするなど、現在の建物では大変効率の悪かった維持経費の部分を大幅に改善し、新たな病棟では光熱水費や燃料費が大幅に節減されることとなります。

さらなる建替の効果としては、廊下幅や病室の広さを十分確保することで、診療報酬での収益の増加を見込むことができ、経費の節減効果と合わせ、その効果額は建設費の返済額をまかなうものとなり、今後の病院経営を悪化させることなく、15年間の返済を進めて行ける見通しとなっています。

